

デジカメ撮影機能

●ナビゲーター Let'sフォト美
【今回使用したカメラ】 DiIMAGE 7 (MINOLTA)

3月

..... FUNCTION

モノトーン撮影

思い出をノスタルジックな写真にしよう

3月は移動の季節。入学や就職、転勤などでこれまでの生活に別れを告げる人も多いと思います。そこで、今回のテーマは「思い出」。えっ？写真そのものが思い出じゃないかって？まあ、そうなのですが、ここでは、思い出として残したいものを何気なく写真に撮り、それをモノクロやセピア写真にする方法をご紹介します。



Step 1

色が無い方が良い場合もある

カラー写真は、一見インパクトがあり表現力も豊かに思われますが、露出がうまく合わなかったり、本来の色が思うように出なかったりすると、必ずしも印象的な写真にはなり得ません。場合によっては、色彩を排除し、モノトーンだけで表現してみるのも独特の風合いが出て良いものです。



Challenge

■カラー撮影の失敗例

右の写真は、春の海辺にたたずむ二人の上に、どんよりとした空が広がっています。そのため、全体的にくすんだ色で表現されていますし、露出も暗めになってしまいました。あまり印象的とは言えませんね。



Step 2

モノトーン撮影モードに設定

それでは、同じシーンをモノトーンで撮影してみることにしましょう。デジタルカメラには、モノクロフィルムなど不要。設定ひとつでモノトーン撮影できる機種がいくつもあります。ただし、どのカメラにも搭載されているわけではありません。必ず、お使いのカメラにモノトーン撮影機能があるかどうかご確認ください。

Study

■カメラ側の設定方法

通常、カメラのモードダイヤルを「撮影モード」に合わせ、そのメニューの中にある「カラーモード」を、モノトーンに設定します。機種によっては、「モノクロ」、「セピア」、「モノクロコピー」など、名称は異なります。



モノトーン撮影モードに設定すると、モニターでも色彩のない画面で確認しながら撮影できます。

Step 3

モノトーンで景色を切り撮る

こうして、モノトーンモードで撮影したのが右の写真です。

天候のよし悪しやシビアな露出にこだわることなく撮影でき、撮った直後にノスタルジックな作品となるので、かえって印象深い思い出として残るのではないのでしょうか。

あなたも、自分の好きな場所、思い出にしたいシーン、時間を止めたいひとときなど、意図的にモノトーンで撮影してみたいかですか？

今回はモノクロ(白黒)撮影でしたが、カメラによっては「セピアモード」でも撮影できますよ。

Success



バッチリ



Monotone Mini Gallery

その他、いろいろなシーンを、モノクロ・セピアモードで撮ってみました。
カラー写真とは一味違う、独特の風合いを楽しめますよ。



ほら、何気ない風景もモノクロやセピア写真になると、ガテリと雰囲気が変わるのよ

大切な人と青春の一枚

わが子の遊び場

いつも窓から見ていた故郷の空

卒業旅行の旅先にて